



第267号

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会

編集●広報委員会

福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大通ビルディング3F

TEL●092-482-7770 (代)

ホームページ●<http://www.greencoop-fukuoka.jp>

8 月号

グリーン・ウェーブ

GREEN
WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

平和であり続けるために…………… 2・3
夏の麺レシピ…………… 4・5
みんなのキッチンふくつ 1周年… 6
みんなのコラム…………… 7
福祉活動組員基金…………… 8

※GREEN WAVEに記載している商品情報は
発行日現在のもので（金額は個配価格）

次回発行日は8月28日です。



京築支部



小倉北支部



折尾若松支部



福岡東支部



福岡なか支部



福岡西支部



小倉南支部



八幡西支部



大牟田支部



筑後支部



久留米支部



筑紫支部

新しい働き方『KWかけはし』 が誕生しています 私たちと一緒に 働いてみませんか？

2022年5月に扶養範囲内で働ける新しい働き方「KWかけはし」が設立されました。短い時間で仕事がしたい、自分ができる範囲で働けないだろうか？そんな要望から、かけはしは誕生しました。KWかけはしの「かけはし」とは、配送ワーカーズ（KW）と組員とのかけはしになって欲しいとの願いを含んでいます。

現在KWかけはし146名、KW322名がそれぞれの支部で助け合いながら日々の配達を頑張っています。

KWって？

一般社団法人共同購入ワーカーズ
連合ふくおかの通称です。
グリーンコープ商品を組員宅へ、
配達でお届けしているワーカーズです。



筑豊西デポ



筑豊東デポ



宗像支部



中遠支部

躊躇せずに飛び込もう！ ワーカーズはいろいろな働き方であなたを待っている！

KWかけはしは、
扶養範囲内で決まった曜日、決まった時間で働けます。

勤務内容：生協商品の配達・配送助手
研修期間あり
（経験豊かなスタッフがトラック同乗などサポートします）

勤務地：福岡県内全16支部（デポ）

勤務時間：（基本）8:30～17:00 ※詳細はお問い合わせください
半日勤務OK（時間帯・勤務曜日相談可）
土・日休み

時給：1,200円

必要資格：普通運転免許（オートマチック限定免許可能）
※トラックはすべてオートマチック車です

福利厚生：交通費支給（上限あり）・退職金制度有
制服貸与・車通勤可・有給休暇・定期健康診断

問い合わせ先 代表番号 **092-260-7622**
（ワーカーズ連合会）

もしくは注文書に記載されている支部のお問い合わせ先まで

※問い合わせの際「GREEN WAVE8月号を見ました」とお伝えください



各支部お問合せQR



こんな仕事だよ。
動画も見ようね！



動画（3分34秒）

扶養範囲を越えて
働きたい方も
随時募集しています。

設立趣意書

社会変動の波が様々な形で押し寄せる現代にあっても、グリーンコープは常にその現実と向き合い、ひとりの母親・ひとりの人間としての目線で進むべき道を選択して歩んできました。

それは、ただ私達の生活を守るということだけではなく、子どもたちに輝く未来を手渡すという私達大人の責任でもあります。

ワーカーズは、この原点から出発し組員活動の中からやりがいと可能性を求めて誕生してきました。

当初は組員活動の延長としての働き方、限度の枠内で働くワーカーも多く誕生しました。しかし、時代は猛スピードで変革の時を迎え、現在では、社会保険にも加入してフルワークを希望するワーカーが半数を占めるようになりました。そのような中、活かされにくくなってきた限度の枠内で働くワーカーの主体性をもう一度自分たちに取り戻し、そのことを通して働くことのやりがいや喜びが実感できるようにしたいと考えます。

今後は、「KW」と「KWかけはし」がそれぞれの働き方の違いを認め合い、足りないところを補い合い、協同してワーカーズの輪を拡げていきたいと思います。また、より多くの組員とのかけはしになれるようなワーカーズを目指します。

ここに「KWかけはし」を設立し、ひとりひとりのワーカーが自ら責任を持ちながら、地域に必要とされる事業を目指していきます。

2022年5月21日

「KWかけはし」設立発起人会

不戦決議

一、戦争は最大の暴力である。兵器と軍隊は最大の暴力装置である。私たちはこれを否定する。

二、私たちは、平和と生命そのものには価値がない、平和と生命を賭して何を守るかに価値がある、という考えに、平和と生命そのものに価値がある、だから私たちは平和と生命を賭してでも平和と生命を守ろうとするだろう、しかし、むしろそれ以上に、私たちが平和と生命を賭してでも平和と生命を守らなければならない状況そのものを否定する、守る行為さえ肯定はしない、という考えを対置する。

三、私たちは、平和は部分的に腐る、という現実には耐える。

四、私たちは、法が暴力から人間を守る、しかし次の次元では法そのものが人間に対する暴力に転化する、悪循環である、という現実は見える。

五、私たちは暴力の根源を人間の本性に還元しない。

六、私たちは、暴力の根源は、完全な情報公開、徹底的な話し合い、機敏で責任ある対応、この三つの構造的な欠落にあると考える。

七、私たちは今、平和と生命は生協運動にこそ不可欠であると思う。生協運動の自主性も地域性も戦争という最大の国家性と職業性に消される。

最後に私たちは、戦争と暴力を日常的に無化していくために、私たち自身の中にある「人としての自己表現、特にその自己中心性（これが何時でも支配、圧政、侵略、特に正義に化ける）」―その意味で戦争と暴力の本質的な原因―と日常的に、根気よく格闘していくなくてはならないことを、私たちの判断として理解しておきたいと思います。何故なら、こうした判断と格闘が多重で頑丈で信頼に値する分だけ、戦争と暴力の可能性は確実に私たちから遠ざかるはずだからです。

不戦はグリーンコープの原点です。

不戦決議の解釈はこちらをご覧ください。



2022年度 共生・平和長崎自転車隊 報告



2022年度はコロナ禍のため、通常のコースよりも短縮して走りました。(参加募集は福岡県内のみ)

今年度は、全ての単協から参加者が集まりますが、一部走行するコースの変更があります。



▲爆心地公園に到着し「平和のつどい」を開催し、参加者全員で平和を願い、平和の大切さ、生命の尊さを確かめました。

『運営を担うスタッフより』

参加者の皆さんが、安全に「共生・平和長崎自転車隊」の取り組みがおこなえるように、職員・ワーカーズは力を合わせて様々に準備をし、当日を迎えます。

子どもたちと大人たちが、平和を願い同じ時間を過ごす取り組みが、これからも続いて行くように無事を祈りながら、皆さんがカー杯自転車を走らせているそばで、私たちも「不戦」のゼッケンを付け同じ気持ちで伴走しています。

ワーカーズコレクティブwith
荒巻 佐織

2022年度
共生・平和長崎自転車隊
報告はこちらをご覧ください。



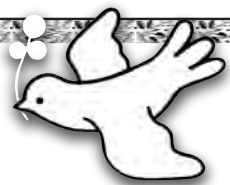
『親子で参加した方より』

昨年の8月に初めて自転車隊に子どもを参加させました。参加のきっかけは、4年前の自転車隊応援バスに初めて親子で参加したことでした。

娘はまだ幼稚園児でしたが、支部で預かった千羽鶴を大事に抱え、一生懸命応援している姿と参加している自転車隊の子どもたちを見て、いつか我が子も参加させたいと自転車の練習を始め、3年ぶりの自転車隊の再開で参加することができました。

当日は、朝から真夏日で出発時にはすでにカンカン照りの中でスタートしました。難関ポイントの日見峠を無事登り切ることができましたが、暑さと慣れない長距離走行で残念ながら完走はできませんでした。しかし、たくさんの声援と手厚いサポートを受けながら走った時間は、子どもにとって大切な宝物になったようです。また機会があれば、次は親子で走行、完走したいです。

久留米支部 山本 幸子



平和

であり続けるために

布団の中で目を覚まし、起きて食事をし、服を着て活動する。

眠たくなったら布団で寝る。この日常は平和であればこそ。

グリーンコープの組合員は「不戦決議」にいつももつれることができ、

戦争と平和、生命について一人ひとりが考えて、

生命をもっとも大切にする「私の不戦」を続けてきました。

今年は他県のグリーンコープ組合員とともに

たくさんの大人に支えられ、たくさんの人に応援され、

共生・平和長崎自転車隊が「不戦」のゼッケンを背に走ります。

もっとも幸せであってほしい子どもたちが、

生命と平和について真正面から向き合えるこの取り組みを

続けられていることも、平和そのものであると感じています。

共生・平和長崎自転車隊とは

8月8日から9日に柳川から長崎までの125kmを「不戦」のゼッケンをつけた子どもたちが自転車で走ります。酷暑、山越えなどの難しい場面も、子どもたち同士の支え合いや大人の見守り・応援で乗り越えていきます。自分の心身と周囲の人々と向き合うことで、すべての生命(いのち)の尊さを体感していきます。

ゴールの長崎市・爆心地公園では、鎮魂の祈りと不戦の誓いを込めて千羽鶴を捧げます。

第一部 銀輪隊は組合員の子供でもで中学1年生～3年生

第二部 自転車隊は組合員およびその家族、小学生から大人まで

※「不戦」：グリーンコープは「反戦」ではなく「不戦」を平和の原点に掲げて取り組みを続けています。



「無名舎・こどもの家」が自転車隊の原点

「無名舎・こどもの家」は柳川市にあり、グリーンコープ初代会長武田桂二朗さんが始めた託児所で、日頃から生活の中に自転車を取り入れています。

共生・平和長崎自転車隊としてグリーンコープの取り組みへと広がりました。

「無名舎・こどもの家」が 昨年創立50周年を迎えました。

「無名舎・こどもの家」が昨年創立50周年を迎えました。

武田さんが表記された「無名百年」。無名舎がこれからまた50年歩み続けられるよう、グリーンコープ発祥の地としての再整備をおこないます。

3月の建設委員会では、平面図と外観を検討しました。1階は託児所と小学生教室。2階には整体院と共生学館(中学生学習塾)、そしてグリーンコープ発祥を感じ取れる展示室と組合員が利用できる会議室もあります。外観は柳川の景観に配慮して落ち着いた雰囲気になりました。

来年3月に完成し、次年度にはお披露目会をおこなう予定です。

南地域理事長 永井 洋子



旧無名舎写真



新しく建築する無名舎のイメージ図です。

故武田桂二朗さんの自邸を改築増築しながら大切に使ってきました。

1
周年

配食サービスセンターみんなのキッチンふくつ

- greencoop THE KITCHEN -

配達
エリア 宗像市・福津市・古賀市
※詳細はお問い合わせください。

2022年8月15日にオープンした「配食サービスセンターみんなのキッチンふくつ -greencoop THE KITCHEN-」が、組合員の皆さんや地域の方がたに支えられ、開所して1周年を迎えます!!



配食サービス ワークス・
コレクティブ木いちご代表
配食サービスセンターみんなのキッチンふくつ
管理者 近藤 ヨウ子



皆さまのおかげで無事に1周年を迎える運びとなりました。

私たちは、高齢化社会が進んでいない時から、地域の高齢者のためとやがて高齢化していく自分たちのために、グリーンコープの福祉委員会の有志から生まれた「ころっけ」と中部地域の初めての総菜ワーカーとして30有余年経って、2022年7月に「配食サービスワークス・コレクティブ木いちご」として一つになり、このセントラルキッチンで配食サービスを開始しています。開所当初は福津市・宗像市を配達エリアとしていましたが、2023年4月より古賀市まで配達エリアを広げることができました。

高齢者のみならず産前産後、病中病後、働く女性(家族)からも注文を受けています。今後は食事を摂ることが困難な子どもたちの食事支援、そして将来の人材不足が想定される様々な施設の食事作りの支援事業など、ニーズは多岐にわたることが予想されます。今後もワーカー全員で力を合わせ地域に貢献していきたいと考えています。



1日1食からのご注文でも
対応いたします!



昼食・夕食の献立はお肉とお魚が
バランスよく摂れるように組み立
てています!
ご注文される方の要望に合わせて、
減塩食やきざみ食、おかゆ対応も
おこなっています!



季節に応じてお花見弁当の取り組
みもおこないました。
最終的には219個のご注文があり
ました!!
今後も、季節のお弁当の取り組み
をおこないます!

【料 金】

お弁当……………690円(税込)
おかずのみ……………620円(税込)
ごはんのみ……………70円(税込)
きざみ食……………+50円(税込)
ごはん大盛り……………+20円(税込)
季節のお弁当・オードブルは、相談に応じます。

軟飯、
おかゆ、薄味、
超薄味まで
同価格で
対応。



配食サービスセンターみんなのキッチンふくつ

〒811-3205 福津市内殿434-2
TEL.0940-42-8848
FAX.0940-62-5120

ぜひ見て
ください!



Instagram
GREENCOOP_THE_KITCHEN



施設紹介動画
(3分46秒)

その1

母鶏の飼料からこ
だわったグリーン
コープの産直たま
ごを使っています。



その2

野菜はおもにグ
リーンコープの産
直野菜を使っ
ています。



その5

その日に手作りし
たお弁当をその日
のうちに
お届け
します。



その4

化学調味料無添加
で旨みを生かした
こだわりの
調味料を使用
しています。



その3

肉はおもに
グリーンコープの
産直肉を使っ
ています。



幼稚園へのお弁当配達も開始しました♪



福岡市博多区にある幼稚園よりお弁当配達の相談を受け、2023年5月より週1回配達を開始いたしました!

「グリーンコープの食材を使ったお弁当をぜひ利用したい!」というご要望を受け「私たちにできることなら!」とワーカー一同で力を合わせて取り組んでいます。

園児が食べる姿を思い浮かべながら調理していきます。

宗像支部の組合員と一緒に
組合員
プロジェクトも
開催♪

宗像支部の組合員と一緒にプロジェクトを開催し、たくさん意見交換をおこないました!

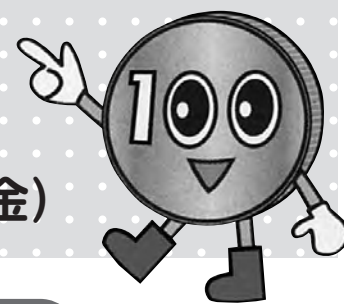
プロジェクトをととして、無料お試しキャンペーンやお友達紹介キャンペーン、冬休みの子ども向け弁当のキャンペーンなど様々な取り組みだ1年間でした!

生活のいろいろな場面で…役にたちます		
お金の問題で困ったとき 生活再生相談室 月～土 9:30～18:00 お電話で予約を。	北九州	福岡
	093-871-8824	092-482-7788
	筑豊	久留米
	0948-22-5611	0942-36-8877
些細なことでも困ったら ふくし情報でんわ 月～金 10:00～16:00 (祝日は休み)	北九州 9:00～16:00(祝日開設)	筑紫
	093-202-3039	092-593-5370
	福岡	筑後
	092-731-1455	0942-21-5406
社会福祉法人 グリーンコープ ファイバーリサイクルセンター	092-623-0294 電話などのお問い合わせ…………… 月～金 9:00～17:00 センター内ショップ営業時間…… 月～金 11:00～17:00	
てるてるコーナー 月～金 9:30～16:30	商品についてのお問い合わせはこちらに。 ☎0120-14-0586 ※祝日はお休みです。	

ふだんのくらしをしあわせに

みんなで支え合い安心して暮らせる地域をつくるために

福祉活動組合員基金 (通称100円基金)



福祉活動組合員基金の考え方と助成までのしくみ

グリーンコープ生協ふくおかは、地域の中で支え合い、助け合える参加型地域福祉に取り組んでいます。
 福祉活動組合員基金とは、組合員が毎月100円ずつ出し合ってつくっている地域福祉の財源のことです。管理と運用は「一般財団法人グリーンコープ生協ふくおか福祉活動組合員基金」でおこない、地域から選出された組合員が運用委員を担っています。
 グリーンコープの福祉活動に9割、地域で活動している団体や個人に1割相当を助成しています。助成を通して地域の人たちと手をつなぎ、住んでいる街を住みたい街にしていきたいと考えています。

評議員会

理事会で決定した事を第三者的な立場で確認します。

(法人の最高決定機関を担います。)

- ・理事・監事の選任、解任
- ・予算・決算の確認
- ・定款の変更

理事会

福祉活動組合員基金全体に関する事を決定しています。

- ・運用規定の変更、助成の考え方などの整理
- ・運用委員の選任
- ・地域からの助成申請団体の確定
- ・これまでにない考え方の地域福祉で判断が必要な団体への助成決定
- ・融資の決定

全体基金運用委員会

グリーンコープの福祉活動に関する申請があったところと面談をしています。グリーンコープの福祉が地域に根ざしたものになるように助成決定する場となります。

地域基金運用委員会

ふくおかには北九州・中部・福岡・南の4つの地域があり、地域で福祉の活動をしている団体から申請があったところとそれぞれ面談をしています。団体との出会いを大切に、共感し、団体に寄り添い、応援する気持ちで助成決定する場となります。

グリーンコープ福祉活動

子育て応援

- ・子育てサークル
- ・親子ひろば
- ・子ども料理教室
- ・子育て講演会
- ・子ども金銭教育教室

グリーンコープ福祉活動

担い手育成

- ・介護職員初任者研修
- ・介護職員実務者研修
- ・子ども料理教室講師養成講座

地域の団体・個人活動

- ・子育て支援活動
- ・不登校に寄り添う支援活動

地域の団体・個人活動

- ・高齢者に関わる支援活動
- ・障がいを持つ人に寄り添う活動
- ・マイノリティなど当事者の活動

グリーンコープ福祉活動

融資

- ・土地・建物購入

今まで(～2022年)に助成した
団体の活動を紹介します!

助成決定した内容はGREEN WAVEでお知らせします!

グリーンコープ福祉活動

一般社団法人 グリーンコープ こども基金

- ・フードサポート

グリーンコープ福祉活動

その他

- ・地域独自で取り組む福祉事業
- ・ファイバーリサイクル運動
- ・福祉事業の運営費の一部
- ・地域福祉を担うワーカーズの運営費
- ・元気カー購入費用
- ・食育ワーカーズten運営費

地域の団体・個人活動

- ・地域の繋がりづくりと活性化の活動
(地域食堂や
みんなの居場所づくり)

その他、毎年様々な団体との
出会いがあります